

大山街道

見どころマップ

赤坂～三軒茶屋	1A	1B	二子玉川～荻田	3A	3B	長津田～鶴間	5A	5B	厚木～愛甲	7A	7B
三軒茶屋～二子玉川	2A	2B	荻田～長津田	4A	4B	鶴間～厚木	6A	6B	愛甲～大山	8A	8B



8. 愛甲から大山まで

愛甲宿からの青山通り大山道(矢倉沢往還)は、糟屋宿で柏尾通り大山道と合流し、せきどめ地蔵のところで、矢倉沢往還から分かれて大山へ向かいます。途中、八王子通り大山道と合流し、石倉橋付近では、田村通り大山道など、各方面からの大山道が集中します。

このように伊勢原市域では、多くの大山道が合流していました。時代によっては様々なルートがとられ、脇道も発達したことから、道のほとんどが大山道であったと言っても過言ではありません。今でも点在する多くの道標からその面影を見ることができます。

三の鳥居を過ぎると門前町に入り、大山講の玉垣や、先導師の宿坊が建ち並びます。大山詣りが盛んであった江戸時代には、宿の玄関先に講社名を記した「板まねき」が掲げられ、大変な活気であったといわれています。今でも白い行衣に身を包んだ三市社の姿を見ることができます。また、川沿いには、あたご滝や良弁滝、元滝などがあり、禊ぎの様子が数多くの浮世絵で描かれています。

追分から女坂を登ると、途中には鉄造不動明王を祀る雨降山大山寺があり、阿夫利神社下社へと続きます。下社の登拝門では、夏山開きの儀式が元禄年間から続いています。下社から本社のある山頂までは、約1時間30分の登山道です。山頂からの眺めは素晴らしく、伊豆大島や伊豆半島まで一望できます。

宿 坊



門前町に入ると、「何々坊」、「先導師何々太夫」などの看板と講社名の彫られた玉垣に囲まれた宿坊が立ち並ぶ。

大山とうふまつり



精進料理として親しまれてきた大山豆腐に感謝すると共に、大山の歴史や文化に親しんでもらおうと、毎年3月第一土・日曜日に市営大山第二駐車場をメイン会場として開催される。その道の達人たちのパフォーマンスと豆腐懐石料理を堪能する「食談」や直径4mの大鍋で作る湯豆腐を無料で振る舞う「仙人鍋」、豆腐早食い競争など、豆腐にちなんだ楽しいイベントが行われる。

女坂の七不思議

- | | | |
|-----|-------|--|
| その1 | 弘法水 | 大山寺三世弘法大師が金剛杖の先でチョンとついたら水が湧き出したといわれている。 |
| その2 | 子育て地藏 | 童顔のお地藏様にあやかって子供の健康な生育に御利益があるといわれている。 |
| その3 | 爪切地藏 | 弘法大師が、一夜のうちに爪で彫ったといわれている。 |
| その4 | 逆さ菩提樹 | 根本が細く、上に行く程太くなっている菩提樹で、逆さに生えたように見える。(現在は2代目) |
| その5 | 無明橋 | 橋の途中で口をきくと後で必ず落とし物や忘れ物をするという言い伝えがある。 |
| その6 | 潮音洞 | この窟に近づいて耳を澄ますと、遠くの海の潮騒が聞こえてくるといわれている。 |
| その7 | 眼形石 | 人の目の形をしたこの石に手を触れて祈ると目の病気が治るといわれている。 |

12 三の鳥居



三の鳥居から上が門前町である。この鳥居は、江戸火消し「せ組」によって建立され、「せ組の鳥居」ともいわれている。すこし先には二つ橋があり、江戸時代は高札場であった。現在はお堂と石仏が残されている。

13 阿夫利神社社務局



毎年8月27日～29日、阿夫利神社本社から祭神の大山祇大神を迎え、秋季例大祭が行われる。10月には、「火祭薪能」が開催される。

14 良弁滝と開山堂

良弁滝は、愛宕滝、大滝、元滝と並ぶ襖ぎの滝の一つ。開山堂は堂内の正面に良弁僧正坐像、右には、猿が赤子を抱いた像、左に姥大日如来像が安置されている。五雲亭貞秀の「大山良弁図」で描かれている。

15 豆腐坂



夏山祭りなどの暑い盛りに講中が奴豆腐を掌に載せて歩きながら食べ、喉を潤したことから、豆腐坂というようになったといわれている。

16 茶湯寺(涅槃寺)



本尊は釈迦涅槃像で、百一日参りで有名である。茶湯供養をした跡、不思議と故人によく似た人に会うか、似た声を聞くという言い伝えがある。

17 八意志兼神社(追分社)



右が男坂、左が女坂と分かれているところから追分社ともいう。祭神は思兼神で、記紀神話の高皇産靈神の子である。

18 雨降山大山寺



天平勝宝7年(755)、奈良東大寺の別当良弁僧正が開山した。本尊は願行上人が文永年間(1274頃)に鑄造した鉄の不動明王である。

19 阿夫利神社下社



延喜式内社で、関東総鎮護の神として広く信仰されている。下社は拝殿ともいい、頂上の本社に祭る三神をここで礼拝する。祝詞の奏上や神符、お守りなどはここで授与され、一年を通じて参拝客でにぎわう。

20 二重滝



別名「雨乞いの滝」ともいう。雨乞いの儀式では、この滝の水が使われる。傍らの二重滝神社は、明治初期に倶利伽羅堂に代わって創建され、高おかみを祭神とする。

21 来迎谷

大山の頂上付近、蓑毛からあがってきた道との交点付近に富士山が見える場所があり、来迎谷と呼ばれている。初代広重の浮世絵「不二三十六景 相模大山来迎谷」で描かれている。

22 阿夫利神社本社



大山の山頂(1252m)にある。本社祭神は大山祇大神、摂社の奥宮は大雷神(雷電を起こす神)、前車は高おかみ(水を司り祈雨、止雨の神)を祀る。社殿の下に大きな磐座があり、ご神体は青い石であるといわれる。